

全国協議会 ニュース

2014年4月1日発行
第262号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒101-0031 東京都
千代田区東神田1-3-4
KTビル3F
TEL.(03)5823-6360
FAX.(03)5823-6365
発行責任者:野村正満
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

自治体のドナー給付制度が拡大

島根、埼玉県でも4月から

骨髄バンクへのドナー登録活動は、ボランティア団体にとって最も重要な役割の一つです。が、造血幹細胞の提供に当たって「ネック」となっているのが、採取のために入院する際の「優遇措置」です。「全て個人の善意で賄うべきだ」という論調が長らく続いてきましたが、ドナー休暇制度を導入する企業の増加に伴い、「ドナー給付制度」を取り入れた自治体も徐々に増えつつあります。新潟県加茂市(2011年4月)が草分け的存在ですが、これまで市町だけにどまっていた制度が、2014年度はついに都道府県レベル(島根・埼玉県)にまで広がりました。今回はドナーをバックアップする自治体の施策を取り上げます。

日本骨髄バンクの集計によれば、2013年度までに全国で計21市町がドナー給付制度を導入(表参照)しています。2014年度から島根・埼玉県のほか、都城(宮崎県)・大田(島根県)・犬山(愛知県)・本庄(埼玉県)・入間(埼玉県)・総社(岡山県)市と津幡町(石川県)の7市町が加わるようになっており、総計30自治体になります。この7市町はまだ詳細が把握できていないため、改めて紹介する予定です。

島根県 事業所助成や若年層に的を絞ったボランティア支援も
しまねまごころバンクは島根県からの委託を受け、骨髄バンクの普及啓発を実施し、献血併行型登録会の開催では血液センターやボランティア団体との調整を行っています。当バンクでは事業の推進を図るため、医療機関、ボランティア団体、血液センター、行政などの関係者で構成する骨髄移植推進連絡協議会を開催し、事業計画について協議いただいております。

一方、島根県では2012年度に「島根県がん対策推進計画」(13~17年度)が策定されました。この中で、血液がん対策においては、ドナー登録の推進が掲げられ、日本

市町名	府県	内容
1 加茂市	新潟県	本人1日2万円、7日間限度
2 浜田市	島根県	本人1日2万円、7日間限度
3 益田市	島根県	本人1日2万円、事業所1日1万円、7日間限度
4 四国中央市	愛媛県	本人10万円、事業所5万円、7日間限度
5 稲城市	東京都	本人1日2万円、事業所1日1万円、7日間限度
6 小山市	栃木県	本人1日2万円、事業所1万円、7日間限度
7 大田原市	栃木県	本人1日2万円、事業所1万円、7日間限度
8 日光市	栃木県	本人1日2万円、事業所1万円、7日間限度。市外在住者も対象
9 習志野市	千葉県	本人10万円、事業所5万円
10 清水町	静岡県	本人2万円、企業1日1万円、7日間限度
11 新潟市	新潟県	本人新潟市共通商品券10万円
12 名張市	三重県	本人入院日数×2万円(上限14万円) 事業所入院日数×1万円(上限7万円)
13 富田林市	大阪府	本人1日2万円、7日間限度
14 五泉市	新潟県	通院または入院の日数1日2万円、14万円限度
15 胎内市	新潟県	本人1日2万円、限度なし
16 燕市	新潟県	助成制度とはわず、ドナーに奨励金交付1日2万円、14万円限度
17 聖籠町	新潟県	本人1日2万円、14万円限度
18 八幡浜市	愛媛県	本人10万円、事業所5万円
19 内灘町	石川県	本人1日2万円、事業所1日1万円、7日間限度
20 滑川町	埼玉県	本人1回10万円、事業所1人5万円
21 松阪市	三重県	本人1日2万円、上限14万円、事業所1日1万円、7万円限度

※日本骨髄バンクの集計を基に編集(事業所とは、ドナー本人の勤務先)

ボランティアの集いin醍醐寺 ② 太閤秀吉「最期の花道」の舞台に

慶長3年(1598)3月15日(旧暦)、最晩年に豊臣秀吉は醍醐寺において花見を行いました。諸大名からその配下の女房女中衆約1300名を召し寄せた盛大な催しで、その様子について醍醐寺の義演准后座主(第80代)は「義演准后日記」に次のように記しています。

「今日太閤御所渡御せられる、女中各御成あり、終日花遊覧す、路次茶や以下の結構、筆舌に尽し難し、一事障碍なく、無為に還御せらる」(訳:今日、太閤秀吉が醍醐寺にお渡りになられた。淀公や北政所をはじめとする「女中」らもおのおのお成りになり、終日桜を御覧になられた。路次や茶屋などの贅を尽くしたあり様は、言葉では言い尽くしがたいほどである。何の問題もなく、無事に太閤たちはお帰りになられた)

義演准后座主は秀吉の帰依を得ていましたが、秀吉の先がそう長くないことを悟ったことから「最期の花道」にするため計画したとも伝えられており、現実に秀吉はこのときから5ヵ月後に没しています。

天下人太閤秀吉も愛でた「醍醐の桜」は、このニュースが皆様のお手元に届くころには、満開を迎えているはず。醍醐寺では毎年4月第2日曜に「豊太閤花見行列」を催しています。「ボランティアの集いin醍醐寺」が開催される6月21日(土)には、キレイな緑の葉をたたえ皆様をお迎えするでしょう。

【醍醐寺の年中行事一口メモ】2月には同様に柴燈護摩を焚き上げて五大明王の功徳を讃える「五大力尊仁王会」が厳修され、併せて150kg近い巨大な鏡餅を持ち上げる力比べが行われます。



埼玉県は市町村と協力して、4月からドナー休暇のない骨

埼玉県 連絡会議を県議会採択 県内全市町村が対応窓口

この指針に沿って事業を進めるに当たり、当バンクが関係機関の連携強化のための調整機能を充実させていきたいと考えています。(しまねまごころバンク・別所朗)

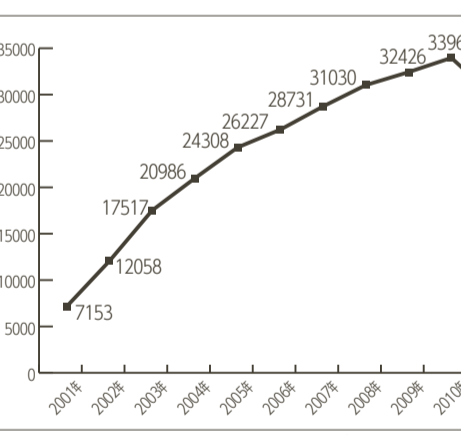
これらを行うことで、17年度の年間新規ドナー登録者数を300名とするとともに、若年層比率を拡大し、ドナー登録者の安定的な確保を目指すものです。

東京臍帯血バンク事業終了 公開さい帯血数は大幅減へ

新法に基づく運用が始まるうとしている直前、東京臍帯血バンクが3月末で事業終了を決定しました。これまでのさい帯血バンクは今後それぞれが独立した形で国の事業許可を得て事業を行うこととなりますが、東京臍帯血バンクは様々な状況から許可の取得が難しいと判断したようです。

同バンクが保存しているさい帯血や補助金で整備された機器類の移管については日本赤十字社と協議しているとのことですが、通常の移管

この助成制度を設けた市町村に対して、県は助成額の半額に当たる1日1万円を補助する、というものです。県内の全市町村が対応窓口になるため、地域住民に対して骨髄バンクの現状や重要性についてきめ細かく周知することができ、併せてドナー登録会の取り組みも一層強化されることと期待されます。(埼玉の会・木村純子)



数年前には11あったさい帯血バンクが4月からは6バンクになり、3年前に3万5000あった公開さい帯血は、法の運用開始時には1万3000になろうとしています(グラフ参照)。厚労省は支障はないとしています。移植を希望する患者さんの選択肢が大きく下がっていることは事実です。

法律はさい帯血バンクに品質の高いさい帯血の提供を求め、そのハードルも高くなっています。それをクリアするには人員の配置や記録の保存など予算の増大が求められていますが、政府の今年度予算ではそれをうかがうことができません。法律で国の責務が明記された方向が、これからどう示されるかを注目したいと思います。

患者サロンのお知らせ「タコ焼きパーティー」
全国協議会では「第4回患者サロン」を5月5日(こどもの日)午後1~4時、協議会事務局(東京・千代田区東神田)で開催します。会費は一人500円(飲み物代を含む)で、当日の飛び込み参加も歓迎です。お問い合わせは協議会事務局まで。

第126回理事会報告
3月16日 全国協議会事務局(報告事項)
●生命保険会社へのさい帯血移植術給付金に関するアンケート調査
●造血細胞移植学会での普及広報活動
●日赤のポータルサイト(審議事項)
●14年度暫定予算
●WBM TでのAFBMTのマイレージ提案
●ブルデンシャルからの寄付金による駅伝助成(検討事項)
●愛称の創設
●ハンドブック改訂版刊行
●設立25周年事業
4月20日 第127回理事会(今後の予定)

骨髄バンクの最新情報をお知らせする
骨髄バンク NOW
(財団マンスリーJMDP (3月14日発行)より抜粋)
◆日本骨髄バンクの現状(2014年2月末現在)
1月 2月 現在数 累計数
ドナー登録者数 2,562 2,506 443,129 606,118
患者登録者数 294 272 2,450 41,121
移植例数 120 111 16,640
■2月の区別ドナー登録者数: 献血ルーム/1,102人、献血併行型集団登録会/1,283人、集団登録会/28人、その他/93人
注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。2012年7月より集計方法が変わりました。

この助成制度を設けた市町村に対して、県は助成額の半額に当たる1日1万円を補助する、というものです。県内の全市町村が対応窓口になるため、地域住民に対して骨髄バンクの現状や重要性についてきめ細かく周知することができ、併せてドナー登録会の取り組みも一層強化されることと期待されます。(埼玉の会・木村純子)

数年前には11あったさい帯血バンクが4月からは6バンクになり、3年前に3万5000あった公開さい帯血は、法の運用開始時には1万3000になろうとしています(グラフ参照)。厚労省は支障はないとしています。移植を希望する患者さんの選択肢が大きく下がっていることは事実です。

法律はさい帯血バンクに品質の高いさい帯血の提供を求め、そのハードルも高くなっています。それをクリアするには人員の配置や記録の保存など予算の増大が求められていますが、政府の今年度予算ではそれをうかがうことができません。法律で国の責務が明記された方向が、これからどう示されるかを注目したいと思います。

患者サロンのお知らせ「タコ焼きパーティー」
全国協議会では「第4回患者サロン」を5月5日(こどもの日)午後1~4時、協議会事務局(東京・千代田区東神田)で開催します。会費は一人500円(飲み物代を含む)で、当日の飛び込み参加も歓迎です。お問い合わせは協議会事務局まで。

ブロックセミナー開催 各地それぞれに

各地区のブロックセミナーが2〜3月にかけて一斉に開催されました。前号では九州地区をお伝えしましたが、今号では全地区を取り上げました。

次いで北海道のドナー登録現状の簡単な分析を行い、一見すると人口比の登録人数の減少が見られるものの、実際は東北6県や四国・九州の合計面積より広い北海道では、調整医師不在の地域でのドナー募集は、コイデネットワークを複雑にするだけであり、今後とも都市部重点の活動を行うことを確認しました。

北海道 『医療・治療の新方向』 北大教授に基本を学ぶ

北海道ブロックのセミナーは2月16日(日)、すみれホテルにて北海道協会・釧路協会・苫小牧推進会・函館協議会の加盟4団体30名の参加で開催されました。

今回は、基本に立ち返り、北海道大学大学院の豊嶋崇徳教授を講師に招き、「今日の医療・治療の新しい方向」について学びました。他の各ブロックが、法律施行をテーマとしているのに対し、北海道ブロックではボランティア活動の足元の見直し



今回のテーマ「造血幹細胞移植法の施行について」を山崎参法の基本方針が患者さんのためと記されているのは素晴らしいこと、ボランティアの役割は不明瞭であるが評価を得ている、共感・連携を高める・病気に對する知識の提供を進めていく活動を求められるだろう、などと話されました。

野村理事長からは「コイデネットワークの哲学を変えない」とい

関東・甲信越 講演で新法施行を評価 ちよっという話も披露

関東・甲信越ブロックセミナーを3月22日(土)に全労済東京会館で開催しました。

今回のテーマ「造血幹細胞移植法の施行について」を山崎参法の基本方針が患者さんのためと記されているのは素晴らしいこと、ボランティアの役割は不明瞭であるが評価を得ている、共感・連携を高める・病気に對する知識の提供を進めていく活動を求められるだろう、などと話されました。

東海・北陸 行政や日赤マンも参加 未加盟団体との交流も

3月8日(土)に「いしかわ骨髄バンク推進・はとの会」に会場などのお世話をいただき、東海・北陸ブロックセミナーが開催されました。開催日前日には日本列島に厳しい寒気が居座



(田中重勝)



り、北陸道が雪に絡む事故で通行止めというアクシデントの中、石川、愛知、東三河、静岡、岐阜のボランティアのほか、行政や血液センターの参加をいただきました。

セミナーでは「新法下でのボランティア活動」と「全国協議会新執行部体制での展開」を基調報告とし、そのあとは各地の報告と意見交換が行われました。せっかく法制化されたので、骨髄移植に関して理解ある社会にしてゆかなければならないことや、提供者のみならずレシピエント側やその家族の方にも、結果がどんな状況であろうとも納得できるようにものにしてゆかなければならないと痛感させられました。

近畿・中四国 新法下での活動を学ぶ 徳島県も取り組み紹介

昨年、姫路市で行われたブロックセミナーに続き、第2回となる近畿・中四国合同ブロックセミナーが2月22日(土)、徳島市で開催されました。

当日は、島根や鳥取からも参加があり、地元徳島の皆さんのお茶やお菓子の接待を受け、和気あいあいの雰囲気の中でセミナーが始まりました。まず、この度幹事を務められた徳島の池田代表から挨拶があり、続いて山形理事より全国協議会の活動報告、森脇理事より6月21日(土)に京都・醍醐寺で開催される全国ボランティアの集いの案内がありました。

東北 移植病棟見学ツアーで 小児患者対応に感激も

3月23日(日)、秋田大学医学部付属病院で東北ブロックセミナーを行い、19名の方にご参加いただきました。法制化後のわれわれの活動は社会への啓発活動と患者支援の活動に向かうのでありと考えると、患者とドナーの今を知らなくてはならないと思いで今回は企画しました。

まずは同病院の高橋直人講師と奈良美保助教による造血細胞移植の現状について講演いただきました。ドナーと患者双方にとって、骨髄と末梢血のどちらも良い面悪い面があり、それはどちらが特に優位という訳ではないが、血縁の場合は麻酔のリスクがないので秋田大学では

2007年以降骨髄を選択するドナーはいないということでした。

次に「治療後の生活を重視した小児科の治療の今」について、中道病院の渡邊新先生にお話しいただき、治療を終えてからの人生が長い小児科の患者にとって、なるべくダメージが残らないように心を砕いている現在の治療に、患者家族歴の長い参加者からは感激の声が上がりました。

さらに無菌室が10床並んでいる無菌病棟と末梢血採取する部屋の見学ツアーに出かけました。前々日まで満床だったのでスライドだけの紹介になるかもしれないと言われていたのですが、前日に一室空いたので新しい無菌室に実際に入ることができました。こちらもテント時代を知っている方からは、現状を知ることができて良い機会をいただいたと言っていました。



(菅 早苗)

各団体の報告では、ドナー登録会で活動が認められルームと良い関係が築けた、ドナー助成制度をどう提案してきたかの体験談、小学校の時の作文コンクールをきっかけに女子高生がドナー登録に来てくれたなどのちよっという話も聞きました。

セミナーの後の懇親会、翌日の兼六園と各地の皆さんと交流できたのがよかったです。

最後の意見交換会では、参加者(徳島からはコイデネットワークの方も)から活発な質疑応答があり当初の予定時間をオーバー

「あいち骨髄バンクを支援する会・水谷久美)」

文化小劇場で『チャンス』をありがとうと患者から、ドナーから

「認定NPO法人」である全国骨髄バンク推進連絡協議会への寄付金は、税制上の優遇措置により確定申告の際の寄付控除対象となります。詳細は事務局へお問い合わせください。

医療現場からの 最新情報



その6 虎の門病院血液内科 石綿一哉

ハプロタイプ

さい帯血のHLAについてお話する前にハプロタイプについてお話します。

HLAは自分と他人を認識する目印でA、B、C、DRなど数十種類の型があり、組み合わせとしては数万通りあると前回お話ししました。例えばある人のHLAはA(2、24)、B(13、46)、C(1、10)、DR(8、12)のように表現されます。お気づきと思いますがこのようにHLAはそれぞれ2つずつの組み合わせになっています。なぜ2つずつかというと父親と母親から1つずつ受け継ぐからなのです。ある人はA24、B24、C20、DR23という型のセットを父親から、A2、B46、C1、DR8という型のセットを母親から1つずつもらってそれが合わせて一人のHLAとしての組み合わせができるのです。

この半分ずつのセットをハプロタイプといいます。つまり何万通りもの組み合わせがあるHLAですが、親と子においてはハプロタイプという概念から考えれば必ず半分は当たっているということです。ただし、母親と父親が同じハプロタイプを持っていないかぎり、片方の親と自分のHLAが半分は必ず合っている、全てが一致する可能性はむしろ大幅に低くなるのです。

自分とHLAが全て一致する可能性は親や子どもよりも兄弟が最も確率が高いのです(1/2×1/2で1/4の確率です)。ですから兄弟においては数十種類の型のうちA、B、DRの3組で6つの型を見て6つが全て合っていれば父親由来と母親由来のハプロタイプのいずれもが一致している可能性が高いので、数十種類すべての型を見なくてもHLAがすべて一致していると考えて構わないのです。

しかし、骨髄バンクドナーやさい帯血ドナーは兄弟ではないのでそういうわけにはいきません。骨髄バンクドナーにおいては少しでも一致に近づけるために現在はドナー検索にはA、B、C、DRと4組8つの型を見ていきます。さらに遺伝子型といってA、B、C、DRそれぞれの一致の精度を高めた方法を用いています。多くの施設では8つのうち1つ違いまでをドナーの許容範囲としています。

では、さい帯血はどうなのでしょう。今回はさい帯血移植におけるHLAの新しいデータをご紹介します。



最後の意見交換会では、参加者(徳島からはコイデネットワークの方も)から活発な質疑応答があり当初の予定時間をオーバー

心からのご寄付に 感謝申し上げます

2月21日～3月20日(敬称略)

第一生命株式会社 神戸支社	現金	27,003円
日本造血細胞移植学会募金箱	現金	3,412円
飛田 行康	現金	5,000円
赤代 真也	現金	5,000円
原口 浩憲	現金	18,500円
藤波 敬子	現金	10,000円
匿名	現金	5,000円
●白血病患者支援基金		
ブルデンシャル生命保険株式会社	現金	2,670,000円
東京新都心ライオンズクラブ	現金	100,000円
コア歯科クリニック	現金	5,975円
イオン都城店	現金	8,400円
株式会社天山	現金	11,404円
絵画JUN展に集う会	現金	170,000円
村上 史一	現金	1,000円
島津 桂子	現金	3,000円
●さとうきもち患者支援基金		
倉敷中央病院	現金	2,635円
橋本 ほしみ	現金	2,000円
貞森 久美子	現金	6,000円
匿名	現金	10,000円
●志村大輔基金		
コダマ ノリユキ	現金	10,000円

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会



「認定NPO法人」である全国骨髄バンク推進連絡協議会への寄付金は、税制上の優遇措置により確定申告の際の寄付控除対象となります。詳細は事務局へお問い合わせください。

「認定NPO法人」である全国骨髄バンク推進連絡協議会への寄付金は、税制上の優遇措置により確定申告の際の寄付控除対象となります。詳細は事務局へお問い合わせください。